

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

事業名 県視覚障害者福祉協会補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111(内3485)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,130 千円 (前年度予算額： 1,230 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,230	0	0	0	0	0	0	0	1,230
要求額	1,130	0	0	0	0	0	0	0	1,130
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

視覚障害者福祉協会への補助を通じて、視覚障がい者の活動を支援し、視覚障がい者の社会的地位の向上と自立を支援

(2) 事業内容

○団体への運営費補助金

県の補助については、次の点から実施

①県域を活動エリアとする視覚障がい者団体としての長年の歴史を有し、県下視覚障がい者の状況を把握していること。

②視覚障がい者の自立更生を促す事業を展開しており、視覚障がい者の社会参加や自立を支援する団体として、その役割はますます高くなっていること。

(3) 県負担・補助率の考え方

視覚障害者福祉協会補助金：1,017千円（県10/10）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,130	人件費、需用費等
合計	1,130	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 後年度の財政負担

視覚障がい者の福祉向上と自立促進を図るため、県負担は今後とも必要

(2) 事業主体及びその妥当性

地域福祉の増進に資する岐阜県視覚障害者福祉協会の運営費の一部を県が補助することは妥当

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	視覚障害者福祉協会補助金
補助事業者（団体）	（一社）岐阜県視覚障害者福祉協会
補助事業の概要	（目的）県域の視覚障がい者の文化と福祉の向上及び自立と社会参加促進。 （内容）県視覚障害者福祉協会の運営費を補助する。
補助率・補助単価等	定額
補助効果	県域の視覚障がい者の文化と福祉の向上及び自立と社会参加促進。
終期の設定	令和８年度

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

県視覚障害者福祉協会の運営費を補助することで、県域の視覚障がい者の文化と福祉の向上及び自立と社会参加促進を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
県視覚障害者福祉大会参加者数	—	199	220	220	220	90%

(これまでの取組内容と成果)

令和４年度	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県点字競技大会を開催 視覚障害者鍼灸マッサージ師研修を実施 視覚障害者ガイドヘルパー研修を実施 その他各部活動などの実施
	指標① 目標：1 実績：1 達成率：100 %
令和５年度	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県点字競技大会を開催 視覚障害者鍼灸マッサージ師研修を実施 視覚障害者ガイドヘルパー研修を実施 その他各部活動などの実施
	指標① 目標：1 実績：1 達成率：100 %
令和６年度	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県点字競技大会を開催 視覚障害者鍼灸マッサージ師研修を実施 視覚障害者ガイドヘルパー研修を実施 その他各部活動などの実施
	指標① 目標：220 実績：199 達成率：90 %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	県域を活動エリアとする視覚障がい者団体として長年の歴史があり、県下視覚障がい者の状況を把握していること、視覚障がい者女性家庭生活訓練事業等、視覚障がい者の社会的地位向上及び自立促進に多くの実績がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	点字初心者への点字教室の開催や鍼灸マッサージ師への支援など、幅広く県下の視覚障がい者の自立を促進した。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	点字図書館(視覚障害者生活情報センターぎふ)を運営している岐阜アソシアと連携することで、効率的に事業を行っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 視覚障がい者が社会参加する上で、視覚障がい者に対する地域住民などの周囲の理解は欠かせないものであるため、広く啓発していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 視覚障がい者の社会参加や自立を支援する団体として、その役割はますます高くなっているため、今後も事業を継続する必要がある。
